

JA東京スマイルだより

地域に笑顔と豊かな暮らし

2018年  
新春号  
vol.72



# ほほえみ



江戸川区春江町 小原英行さん圃場

特集

謹賀新年 ～ 組合員とともに歩むJAを目指して～

『一輝く農業人— きら星』～ 子どもたちに安全でおいしい小松菜を届ける～

平成三十年 新年のごあいさつ

# 謹賀新年

## 組合員とともに歩む

### J Aを目指して



新年明けましておめでとーございませう。

組合員ならびに地域の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃はJ Aの各事業に対しまして格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は施設の充実・強化に取り組んだ一年でした。

まず二月に新奥戸支店がオープンし、新たな地域活動拠点として歩み始めました。さらには、六月に足立地区直売所「あだち菜の郷」、七月に江戸川地区直売所「えどちゃんショップ」が営業を始め、念願であった地場農産物の販売拠点が各地区に整い、地域の皆さまへ安心で安全な地場野菜を提供できるようになりました。

また、この三年間で「都市農業振興基本法」「改正農協法」「改正生産緑地法」などが成立し施行され、J Aを取り巻く情勢は大きく変わりました。都市にあるべきものとされた管内農地をいかに保全し、農業を振興させ農業所得の増大に繋げていくのか、我々J Aに課せられた大きなテーマです。

この事について、年頭にあたり、次のことを申し上げたいと存じます。

「ローマは1日にして成らず」「子孫に美田を残さず」と言われていますが、私は「美田は1日にして成らず」「子孫に美田を残さず」と言いたい。ここで云う「美田」とは、しっかりと肥培管理され、良質な農産物が採れ、さらに多面的な機能を有する田畑農地を意味するものです。そして、「美田」は放置していたら美田ではなくなってしまう。

農地と農家があることがJ Aの存在意義であり、J Aは組合員と共に未来へ「美田」である都市部の農地を残して行くことが使命であります。この使命を果たすためにも自己改革をやり遂げ、組合員、都市農業、そして地域を支えるJ Aとして総合事業の拡充を図ってまいります。

今後も組合員をはじめ地域の皆様と共に歩み、そして、一番に選ばれるJ Aを目指し、役員一丸となって努力して行く所存でございます。

結びに、今年もより良き一年となりますよう、組合員ご家族様ならびに地域の皆様のご健勝ご多幸を心よりご祈念申し上げます。

東京スマイル農業協同組合

代表理事組合長

吉田 進

—輝く農業人—

# きら星

子どもたちに

安全でおいしい

小松菜を届ける

足立区伊興

やまごき  
山崎 光治さん  
みつはる  
(45)



山崎さんと奥様の暁子さん

## 【プロフィール】

45アールのハウスで1年を通し小松菜を栽培。趣味はドライブ。父・妻・長女・長男・二男との6人家族。

山崎光治さんは一年を通して小松菜を栽培し、市場出荷のほか、足立区内の小・中学校10校へ納入しています。

小さい頃から農業を継ぐと決めていた山崎さんは農業大へ進学し、二年間農業を学び、卒業と同時に20歳で就職しました。

当時は大学で学んだことと、お父様の藤雄さんが教えてくれたことが異なり、戸惑いもありましたが、小松菜栽培の年数を重ねて行くなかで、良いと思ったことを取り入れて行きました。「時には失敗もあったけれど、父が自分の思うようにやらせてくれたのが良かった」と山崎さんは話します。

このようななかで培った経験を活かして、現在では春夏秋冬で品種を変えて良質の小松菜を栽培しています。

特に学校給食へ納入するようになってからは味にこだわり、自分で食べてみて苦みなどがなく子どもたちが食べやすいものを栽培するように心掛けています。また、子どもたちが食べる野菜は安全面を重視し、化学肥料や化学農薬を減らすよう意識しています。

こうして栽培された小松菜は、毎日一人で5〜6校へ届けています。給食で山崎さんの小松菜を使用している小学校の3年生が足立区内の農業を学ぶため、社会科学の授業で畑へ年に2〜3回見学に来きます。畑では、奥様の暁子さんと二人で小松菜の出来るまでを種や播種機、耕運機などを見せて説明します。子どもたちは自分が給食で食べている小松菜について熱心に話を聞き、説明の中で「この小松菜は明日学校へ持って行きます」と話すと大喜びをするそうです。

このほか、近くの保育園から園児たちが小松菜収穫体験にやってきます。初めての収穫体験で葉だけを引っ張る子や力を入れ過ぎて茎を握りつぶしてしまう子もいます。園児たちに人気なのは播種機で、交代で走りながら押す姿は可愛らしいと、子どもたちの話をする山崎さんはとても優しい笑顔でした。

認定農業者、そして家族協定を結んでいる山崎さんは、藤雄さんと暁子さんの三人で農作業を行っています。年末の繁忙期には農業に興味を持っている小学生の二男が小松菜を洗う手伝いをしてくれるそうです。「子どもたちには農業を継いでくれとは言わない。自分がやりたいことをやればいい」と話していると教えてくれました。

山崎さんは今日も地域の子どもたちへ安全でおいしい小松菜を届けています。



暁子さん、お父様の藤雄さんの三人で作業をしています。山崎さんはP5掲載の「平成29年度 東京都農畜産物共進会技術・圃場の部」で優秀賞に選ばれました。

### ④ 展望レストハウス クリスタルビュー (汐風の広場ゾーン)



クリスタルビューからは公園内が全て見渡せるほか、東京湾が一望でき、1階には無料休憩室と「防災情報ひろば」があります。(9:00~17:00 入館16:30まで) **無料**  
 ※クリスタルビュー前にある展望広場にも大花壇あり。

最上階は開放感があり、とても見晴らしがよく、冬でも天気の良い日は温かいです。撮影時は、温室にしているような暑さでした。



### ③ 葛西海浜公園



公園内の「葛西渚橋」を渡ると「葛西海浜公園 西なぎさ」へ行くことができます。公園面積約411.7ヘクタールのうち水域が411.4ヘクタールと公園のほとんどが海(東京湾)になっており、目の前に広がる東京湾のほか、東京ディズニーリゾートや東京ゲートブリッジ、うみほたるの風の塔が見えます。夏には多くの人でにぎわいますが、秋から冬は人も少なく、波の音を聞きながら景色や海鳥を眺めるのに最適です。

東京ディズニーリゾート



東京ゲートブリッジ



**開園時間**  
 9:00~17:00 ※季節により延長します。  
 4/15~7/19の土・日・祝日は 18:00閉門  
 7/20~8/15は19:00閉門  
 8/16~8/31は18:00閉門

**スタート**  
 JR京葉線  
 葛西臨海公園駅  
**ゴール**



### 葛西臨海公園

この公園は大空のもと紺べきの海が広がる東京湾に、緑と水と人のふれあいをテーマに五つのゾーンを配して誕生した広さ約80ヘクタールの公園です。葛西渚橋を渡り、葛西海浜公園へ行くこともでき、行楽地としての色あいの濃い公園となっています。

また、2020年の東京オリンピック「カヌー・スラローム競技」会場が隣接地に現在建設中です。

**アクセス**

住所：江戸川区臨海町六丁目  
 JR京葉線 葛西臨海公園駅 徒歩1分

**駐車場 (24時間営業) 181台**

**普通車** 1時間まで200円  
 以後30分毎に100円



**花の見ごろ**

2月：スイセン(大花壇)  
 3月：菜の花(大花壇)  
 4月：約770本の桜  
 ※1年を通して四季折々の花などが楽しめる。

距離：3.7km  
 約1時間5分

### ② ダイヤと花の大観覧車



葛西臨海公園と言えば大観覧車！園内のどこからも見ることができ、場所ごとに違う表情になります。冬は空気が澄んでいるので、富士山が良く見えるそうです。(1周 約17分)

**営業時間**  
 通常 10:00~20:00  
 土、日、祝、GW } 10:00~21:00  
 春・夏休み }  
**休業日**  
 1月の第4・5の水曜日、2月の全水曜日  
 (祝日に当たる場合は翌日)  
**料金**

一般(3歳以上)：700円  
 団体(20名以上)：630円  
 シルバー(70歳以上)：400円  
 ※年齢を証明する身分証明書を  
 ご持参ください。



園内を巡るパークトレインは  
 ●大人(中学生以上70歳未満)：300円  
 ●70歳以上・小人：150円です。

## すまいる散歩

夏号「東綾瀬公園」、秋号「水元公園」と管内の都立公園を紹介してきました。今回は「都立葛西臨海公園・葛西海浜公園」をお散歩です。管内でも唯一海と接している公園で、大観覧車や葛西臨海水族園のほかに、初日の出のスポットとしても有名です。海風に負けずレッツお散歩！



葛西臨海公園「汐風の広場」から東京湾を望む

### ① 蓮池(芝生のゾーン)



蓮池の橋を渡ると大花壇がある芝生の広場ゾーンに行けます。ここには、日本庭園などがあり、コースから外れて探索するのもおすすめです。

2月にはたくさんのスイセンが咲く大花壇です。取材時は、小さな芽が出てました。2月に水仙まつりが開催されるそうです。



木々に囲まれた日本庭園です。ぜひ、探してみてください！後ろには竹林がありました。

